

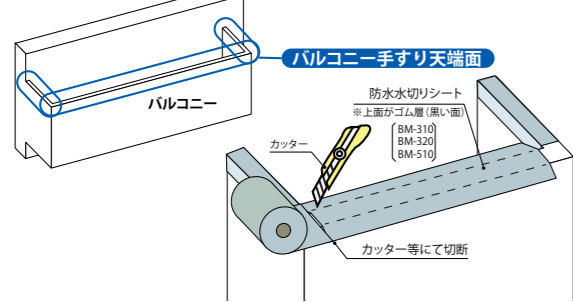
施工要領 防水水切りシート／防水プレート

防水水切りシート バルコニー手すり天端部 施工要領

手順 1

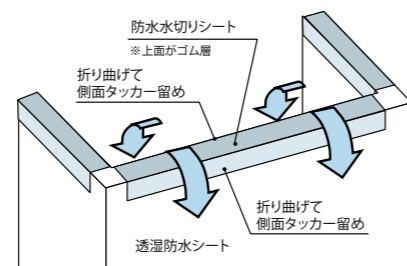
バルコニー手すりの天端面に下図のように「防水水切りシート」を施工し、必要な長さでカットします。

●バルコニー手すり天端面の防水処理



手順 2

図のように、防水水切りシートの両端を折り曲げ、側面からタッカーを使用して固定します。



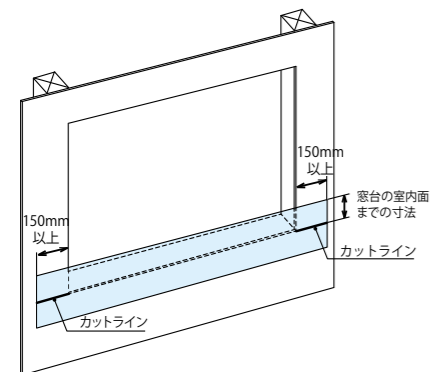
注意
この時点では、天端面はタッカー・ビスなどを使用しないでください。

注意
防水水切りシートは、ゴム層（黒い面）が上になるように施工してください。

防水水切りシート 窓台部 施工要領

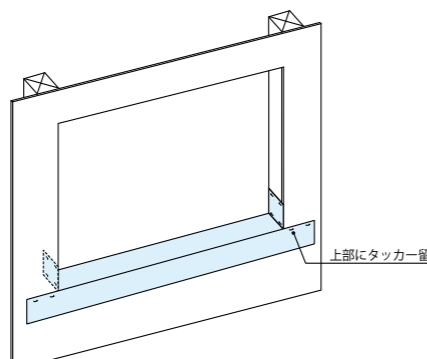
手順 1

防水水切りシートを開口左右よりそれぞれ150mm以上確保した長さにし、図の窓開口左右部をカットします。



手順 2

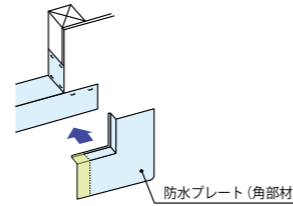
図のように折り曲げた後、垂直面にタッカー留めます。外壁面の防水水切りシートの下には後の工程で透湿防水シートを差し込むため、タッカー位置は上部にしてください。



手順 3

左右のコーナーに、防水プレート（角部材：BP-03）を取り付けてください。プチルテープなどのみでコーナーを処理する場合は、ピンホールが出来ないように注意してください。

※サッシの取付時防水水切りシートを傷つけないよう注意してください。
※サッシの下側の透湿防水シートは防水水切りシートの裏側に差し込んで施工してください。

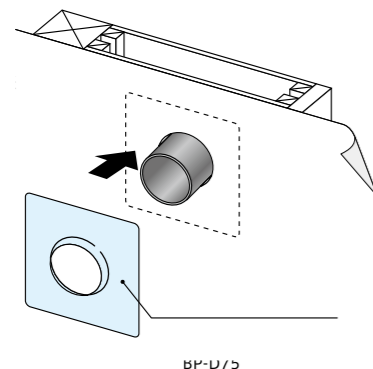


防水プレート ダクト用 施工要領

手順 1

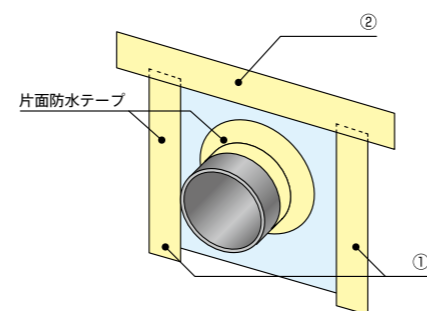
ダクト用部材を適応サイズのパイプに奥まではめ込み、位置決めしてください。

※合板などを用いて、ダクト用部材を受ける下地を設けること。



手順 2

ダクト用部材の周囲を①、②の順番に従って片面防水テープで固定します。ダクト用部材と接続パイプをしっかり片面テープで接着してください。

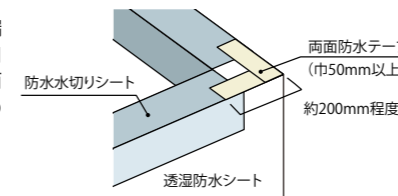
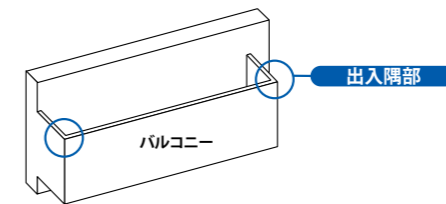


施工要領 防水プレート

防水プレート バルコニー手すり天端出入隅部 施工要領 BP-02 / BP-04

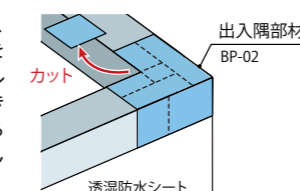
手順 1

バルコニー手すり出隅の天端面（右図参照）にバルコニー用出入隅部材を施工するための両面防水テープ（幅50mm以上のタイプを約200mm程度の長さ）を貼り付けます。



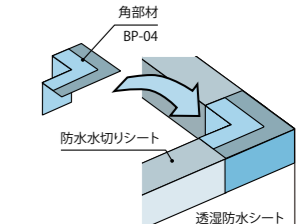
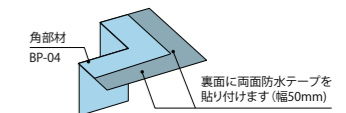
手順 2

両面防水テープ上面の剥離紙をはがし、右図のようにバルコニー用出入隅部材を貼り付けます。このとき、テープとバルコニー用出入隅部材との間に隙間ができないように十分圧着してください。さらに、余分な部分をカッター等でカットしてください。



手順 3

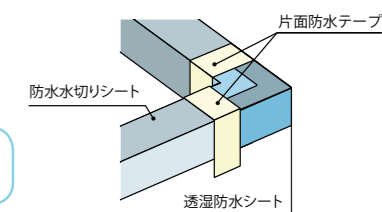
バルコニー用角部材の裏面（図参照）に、両面防水テープ（幅50mm以上）を貼り付けます。角部材を上から重ね圧着します。



手順 4

右図のように各部材の側部を防水テープにて固定します。

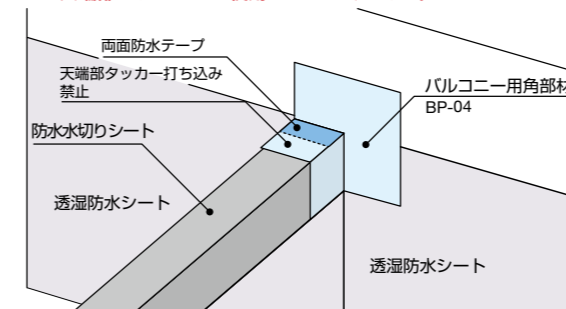
注意
防水テープは、プチル又はアクリルテープを使用してください。



防水プレート バルコニー用角部材 施工要領 (バルコニー手すり天端と外壁取り合い部) BP-04

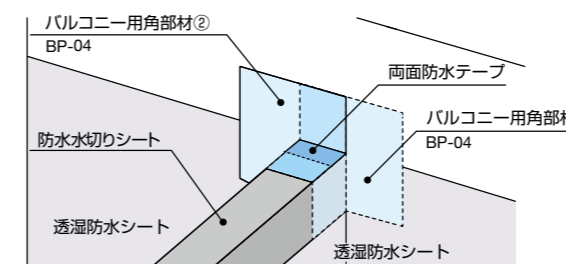
手順 1

手すりの防水水切りシート天端面に貼った両面防水テープ上面の剥離紙を剥がし、下図のようにバルコニー用角部材①を貼り付けます。この時、テープとバルコニー用角部材との間に隙間ができないように十分圧着してください。
※天端部にタッカーは使用しないでください。



手順 2

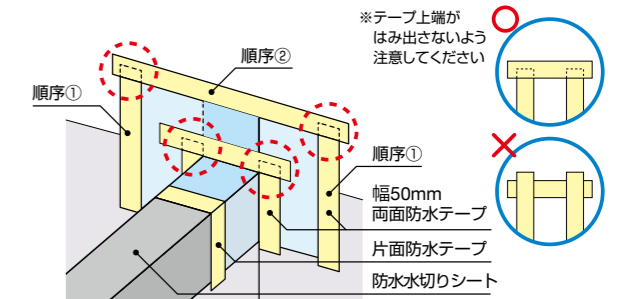
もう一方のバルコニー用角部材②を両面防水テープで貼り付けます。バルコニー用角部材がずれないように十分注意して圧着してください。
※天端部にタッカーは絶対に使用しないでください。



手順 3

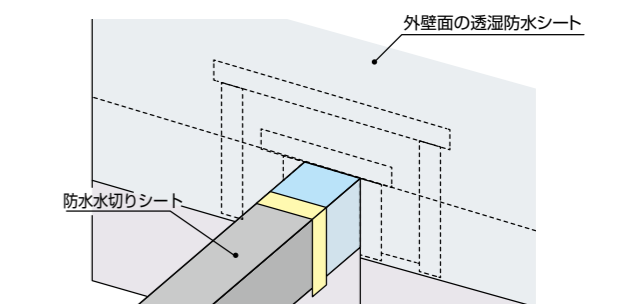
バルコニー用角部材の外壁面側の周囲を、両面防水テープの施工順序に注意して、隙間ができないように施工してください。

※外壁面側に合板などの下地がない場合は、捨て桟や柱、間柱などに両面防水テープにて仮固定してください。



手順 4

バルコニー用角部材を覆うように外壁面側に適切な形状に切り欠いた透湿防水シートを施工してください。

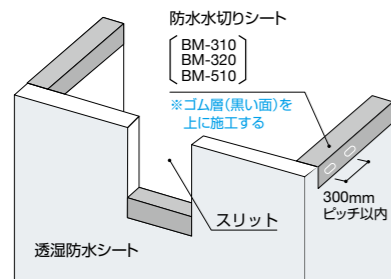


施工要領 防水プレート [バルコニー]

防水プレートバルコニー用 (一体型) 施工要領 BP-05 / BP-06 / BP-07

手順 1

・スリットがある場合、バルコニー前面の天端の水切りシートおよびスリット側面の透湿防水シートの施工は、スリット下部の防水プレート施工後としますのでご注意ください。

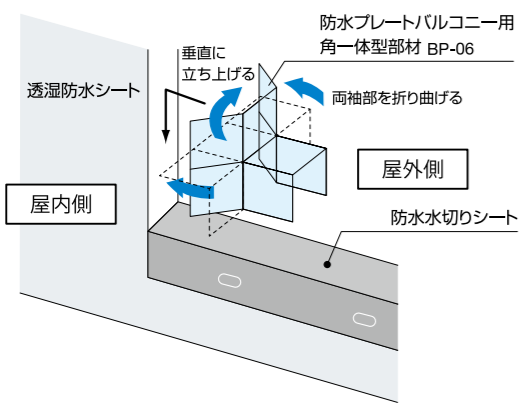


注意

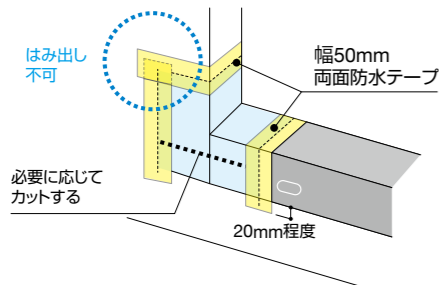
・防水水切りシートはゴム層を上には施工します。固定方法は、タッカーを使用します。タッカーは側面から打ち、上面には打たないようにします。ピッチは300mm以内とします。
・防水水切りシートをつないで施工する際は、重ね代を150mm以上とし、防水テープでジョイントします。

手順 2

・防水プレート角一体型を折り曲げながら、スリット下部に被せます。



・防水プレートの両端部および縦方向に幅50mmの両面防水テープを貼り付けます。
・縦方向の防水テープの上端が横方向のテープから上にはみ出さないよう注意してください。
・防水プレートの端部より20mm程度縦方向の防水テープが下にはみ出すように施工してください。
・スリット部天端の仕上がり高さにより、防水プレートの端部をあらかじめカットしておきます。

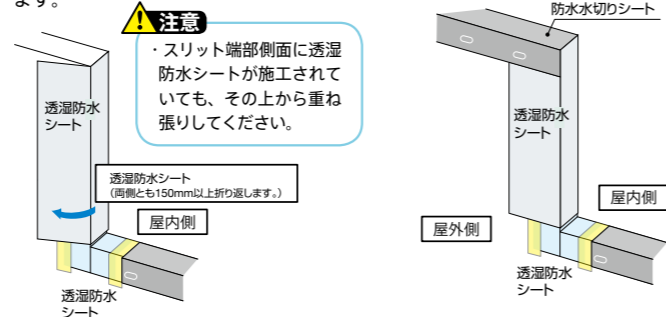


注意

・防水プレートの側面がバタつく場合、垂直面をタッカー打ちしてください。(水平面は不可)

手順 3

・スリット端部側面に透湿防水シートを施工します。その際、折り返しの幅は150mmとします。

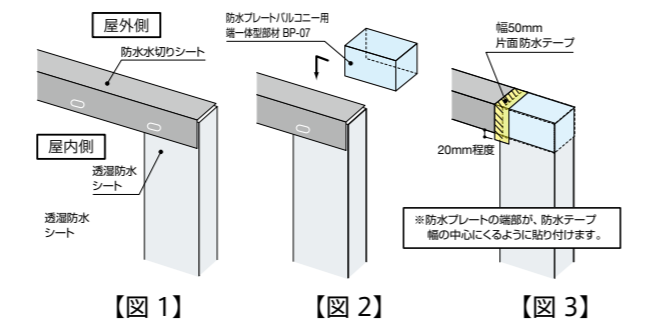


注意

・スリット端部側面に透湿防水シートが施工されていても、その上から重ね張りしてください。

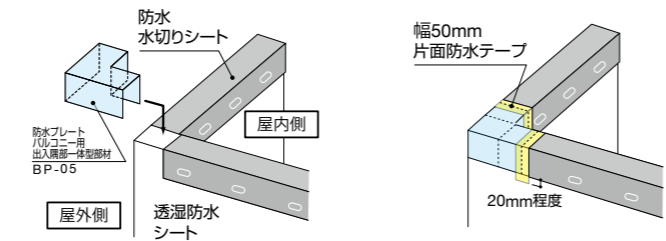
手順 4

・防水プレート端一体型部材を端部にかぶせます。【図2】
・防水プレート端一体型部材を図のように防水テープで固定します。【図3】



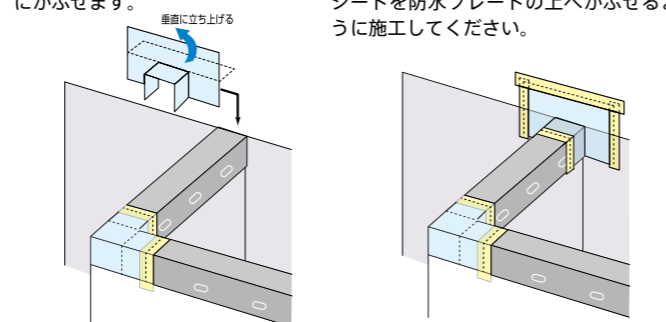
手順 5

・防水プレート出入隅一体部材を、出入隅部に被せます。
・防水プレートの両端部に防水テープを貼り付けます。



手順 6

・防水プレート角一体型を折り曲げ笠木と外壁の直交取り合い部にかぶせます。
・幅50mm以上の防水テープを図のように貼り付けます。その後壁面に透湿防水シートを防水プレートの上へかぶせるように施工してください。

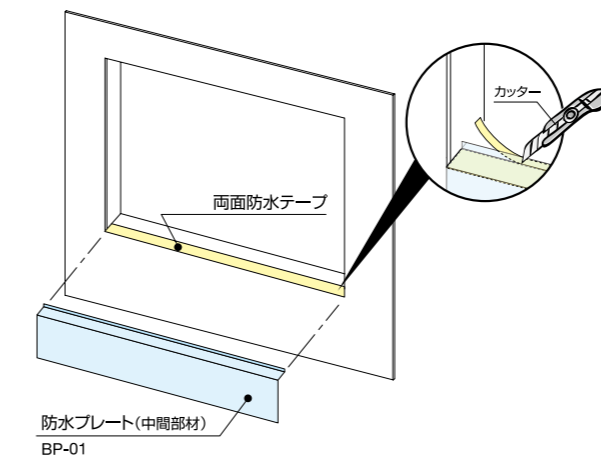


施工要領 防水プレート [サッシ]

防水プレートサッシ用部材 施工要領 BP-01 / BP-03

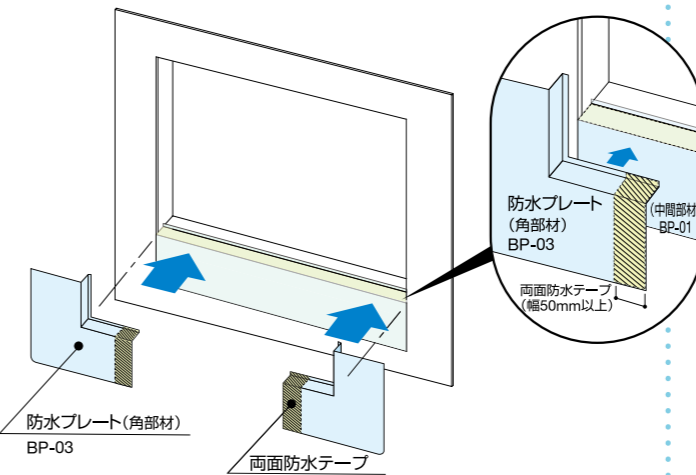
手順 1

・長さを調節した防水プレート (中間部材) を幅50mmの両面防水テープで窓台部に仮固定します。
・防水プレートよりはみ出した両面防水テープはカットし取り除いてください。



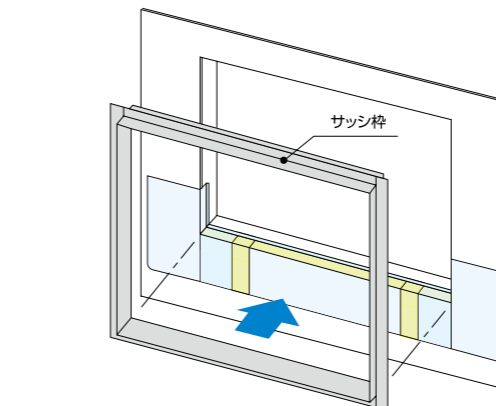
手順 2

・防水プレート (角部材) の斜線部裏面に両面防水テープ (幅50mm以上) を左右2箇所先貼りし、開口左右のコーナー部に当て、中間部材 (BP-01) に仮固定します。



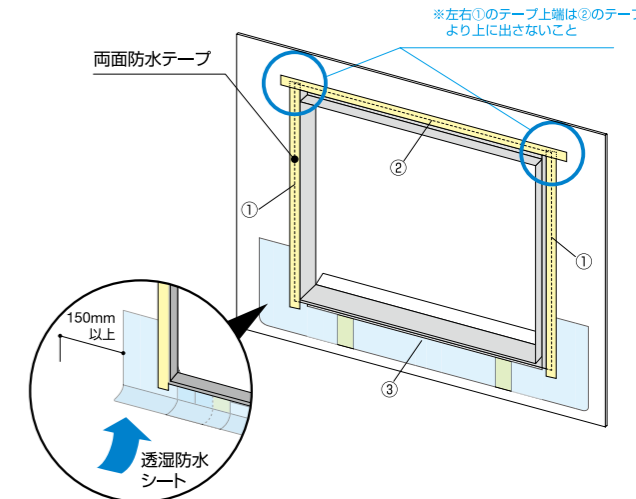
手順 3

・防水プレートを傷つけないよう注意しながらサッシ枠を開口部にはめ込み設置します。



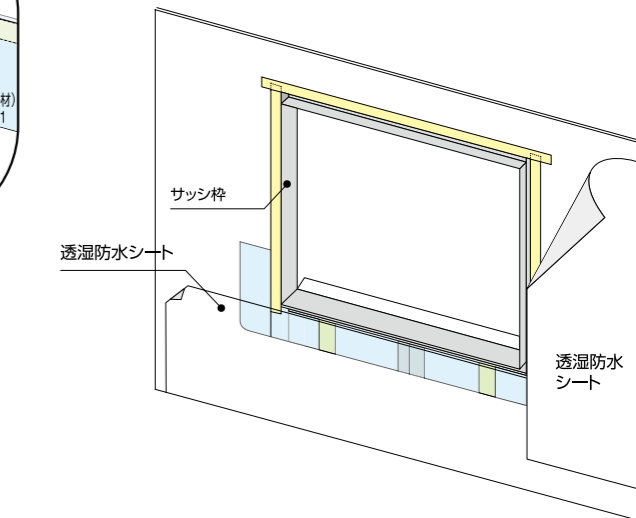
手順 4

・両面防水テープ (幅50mm) をサッシ枠フィン部の左右側①を貼り、その上に重ねてフィン部上側②の順で施工します。
・水抜きのためフィン部下側③には防水テープを施工しないので注意してください。
・サッシ下側に透湿防水シートを防水プレートの裏側に差し込み施工します。



手順 5

・サッシ枠廻りの両面防水テープに透湿防水シートを、皺がでないように施工していきます。



注意

・アングルなしサッシの場合で、開口部下地へのサッシ枠かかり寸法が42mmを超える場合は枠が水返し部を超えるため使用できません。
・内装工事の窓枠施工時に窓枠と角部材が干渉する場合は右図の斜線部をカットしてください。

